

令和六年度 一般入学試験問題「国語」

【試験上の注意答えはすべて解答用紙に記入すること】

◎次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

気になる調査結果が公表された。インターネット上を飛び交う情報のリスクを認識している人の割合が、日本では諸外国に比べて①おおはばに低かったという。

総務省は七月に二〇二三年版「情報通信白書」を出した。それによると、Aネット交流サービ（SNS）には自分の意見や考え方に近い情報が表示されやすいことを「知っている」と回答した人の割合はB四割弱にとどまった。七〇八割だった米国、ドイツ、中国の三カ国に比べて極めて低い。

プラットフォーム企業は利用者の閲覧や検索の履歴などを②基に、関心のありそうな情報を選別してスマートフォンなどの端末に配信している。自社のSNSなどの利用時間をできるだけ長引かせ、広告媒体としての価値を上げようとするからだ。

その結果、利用者が自分好みの情報に囲まれるデジタル環境「フィルターバブル」が形成される傾向がある。弊害は異論や別の視点に触れる③きかいが失われることだ。人々のものの見方が④偏れば、社会の分断に拍車がかかる。

ネットには誤った情報や意図的なウソ、デマも出回りやすい。Cフィルターバブルに囲まれているとそれにも気づきにくくなる。

偽情報の拡散を防ぐため、非営利団体や報道機関による検証活動「ファクトチェック」が広がっているが、その⑤にち度も日本は低い。「知っている」と回答した人は半数弱で、九割を超えた米国や韓国に比べて大きな差がある。

ネット情報の⑥とくせいを知らないまま、手元に集まる耳に心地よい情報ばかりに⑦せつしていれば、D人は自身の考えや気持ちを見失ってしまう恐れがある。自由意思による選択が⑧ぜんていの民主主義が⑨こんかんから揺らぎかねない。

公的な規制の動きもあるが、権力頼みには危険も⑩伴う。監視や検閲、情報操作などに利用される可能性があるためだ。

弊害を防ぐため、まず必要なのはプラットフォーム企業による健全化への取り組みだろう。同時に学校におけるデジタルリテラシー教育、官民による啓発活動の充実も不可欠だ。市民自身もリスクを自覚し、情報の質を見極める力を向上させる必要がある。

令和六年度 一般入学試験問題「国語」

【試験上の注意答えはすべて解答用紙に記入すること】

問一 傍線部①～⑩について、漢字は平仮名に、平仮名は漢字と送り仮名に直して書きなさい。

問二 傍線部Aに「ネット交流サービス(SNS)」には自分の意見や考え方に近い情報が表示されやすい」とある。その理由について正しいものをひとつ選び、記号で答えなさい。

- ア 「知っている」と回答した人の割合が、日本では極めて低かったため。
イ プラットフォーム企業が、自社サービスの価値を上げようとしているため。
ウ SNSの利用者が、自分好みの情報を選別しているため。
エ 報道機関などが、誤った情報に対しファクトチェックを行っていないため。

問三 傍線部Bに「四割弱」とある。これと同じ意味の表現をひとつ選び、記号で答えなさい。

- ア 四割未満 イ 四割以下 ウ 四割程度 エ 四割以上

問四 傍線部Cに「フィルターバブルに囲まれている」とそれにも気づきにくくなる」とある。

- (一) 「それ」の内容を明らかにしなさい。
(二) 気づきにくくなる理由を、本文中の言葉を用いて説明しなさい。

問五 傍線部Dに「人は自身の考えや気持ちを見失ってしまう恐れがある」とある。その理由について正しいものをひとつ選び、記号で答えなさい。

- ア インターネット上を飛び交う情報のリスクを認識していないから。
イ 異論や別の視点に触れにくくなるから。
ウ 誤った情報やウソに騙されてしまうことがあるから。
エ 自由意志による選択ができなくなるおそれがあるから。

問六 フィルターバブルの説明をした次の文章について、正しければ○、誤っていれば×を記入しなさい。

- a フィルターバブルとは利用者が自分好みの情報に囲まれるデジタル環境をさす。
b フィルターバブルがあると、誤った情報や意図的なウソに気づきにくくなる。
c フィルターバブルによる偽情報の拡散を防ぐため、ファクトチェックがある。
d フィルターバブルは監視や検閲、情報操作などに利用される可能性がある。